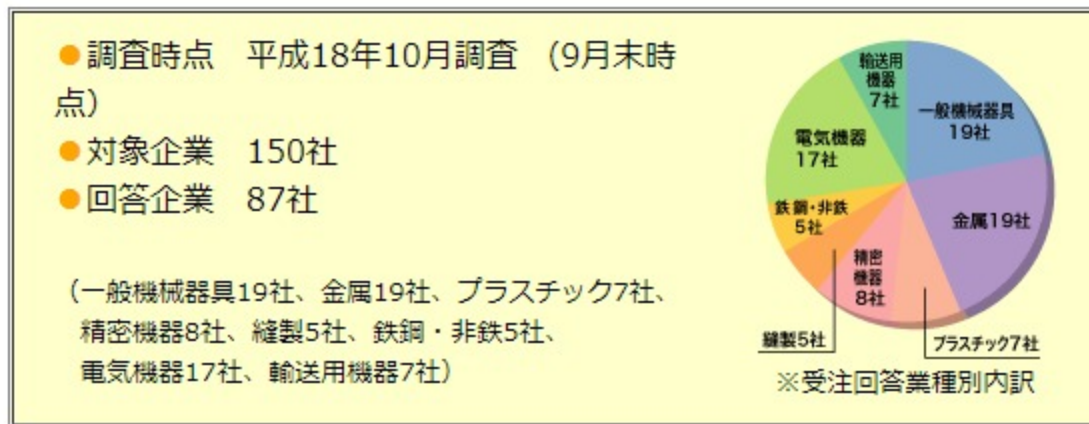


2006.10



対前年同月比

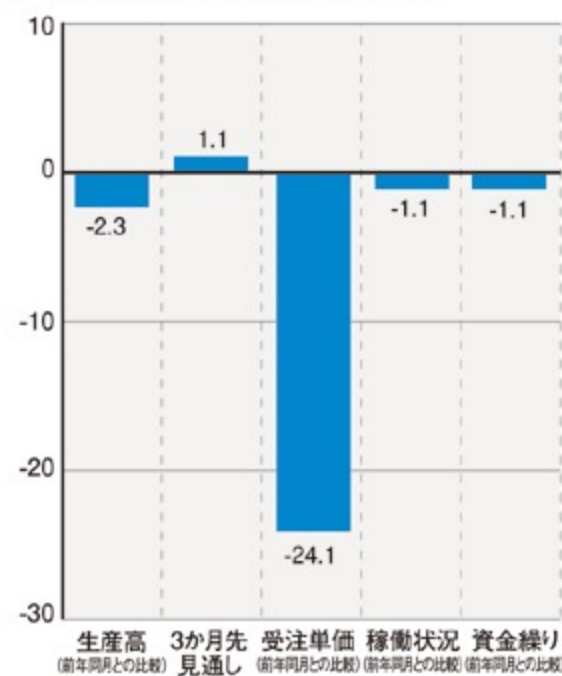
全業種での生産高（対前年同月比）は△2.3ポイント（前回7.3ポイント）となり、マイナス傾向に転じた。業種別では「精密機器」「鉄鋼・非鉄」「金属製品」「輸送用機器」の業種ではプラス傾向を示しているが、「縫製」「プラスチック」「電気機器」「一般機器」ではマイナス傾向にある。

受注単価（対前年同月比）では、△24.1ポイント（前回△30.2ポイント）と厳しい状況が続いている。特に、「鉄鋼・非鉄」では原材料高騰の要因を値上げで対応している企業が40ポイントにのぼっているが、それ以外の業種ではすべてマイナスの傾向にある。「縫製」「一般機器」「プラスチック」では厳しさが窺える。

資金繰り（対前年同月比）は、△1.1ポイント（前回△6.3ポイント）を示した。

「金属製品」「精密機器」「鉄鋼・非鉄」では良化傾向を示し、「縫製」「電気機器」「プラスチック」では悪化傾向を示している。

■全業種の受注動向（グラフA）



3か月先見通し

全業種での業況3か月先見通しは、1.1ポイント（前回4.2ポイント）を示した。業種別では、「精密機器」「鉄鋼・非鉄」では増加とする企業が目立っているが、「繊維」では依然として減少の見通しとしている。

■業種別の受注動向（グラフB）

